

「第1回 愛媛県勤労者定期観測調査」結果概要 (2011年10月調査)

2012年3月13日

はじめに

このたび、社団法人愛媛県労働者福祉協議会は、愛媛県内における勤労者の福祉を推進するための基礎資料を得ることを目的に、県内勤労者を対象にした景況調査を定期的に行うことになりました。2011年10月から11月にわたり「第1回調査」を実施しましたので、ここに調査結果の概要を報告します。当調査にご協力いただいた加盟団体・事業所、ご回答していただいた方々に厚くお礼申し上げます。

調査の意義

企業や経営者を対象とした景況調査は、多数実施されていますが、勤労者を対象に景況感や暮らし向きを定期的に調べる調査は多くありません。また、愛媛県内を広く対象地域とする定期調査となると、類似のものは皆無であり、当調査は非常にユニークな調査になると考えております。今後、労福協では、調査を繰り返す中で、各種のDI値を算出し、県内勤労者の景況感や暮らし向きの動きを捉えていくことを企図しております。

調査概要

調査名称：愛媛県勤労者定期観測調査（愛媛県勤労者短観）

調査対象：社団法人愛媛県労働者福祉協議会に登録する124団体・事業所の勤労者

調査項目：定期調査（勤労者の景況感、仕事の現状、暮らし向き等）および特別調査

調査実施期間：年2回4月、10月。（第1回調査）2011年10月20日～11月30日

調査依頼数：（第1回調査）432（登録数）、回収数：409、有効回答数：408

調査方法：質問票によるアンケート調査（郵送調査法）

主な調査結果概要

1. 勤め先の経営状況

1年前と比べて、勤め先の経営状況が「悪くなったと思う」（41%）が「良くなったと思う」（10%）を大きく超過した。

2. 仕事での不安・悩み

「将来の収入」（48%）、「毎月の収入の少なさ」（29%）の順に選択が多かった。「将来の収入」は、ほぼ2人に1人が選択しており、将来の収入に対する不安の広がりも深刻である。

3. 世帯の暮らし向き

1年前と比べて、世帯の暮らし向きは「変わらない」（66%）が最多だが、「悪化」（24%）が「良くなった」（7%）を上回った。

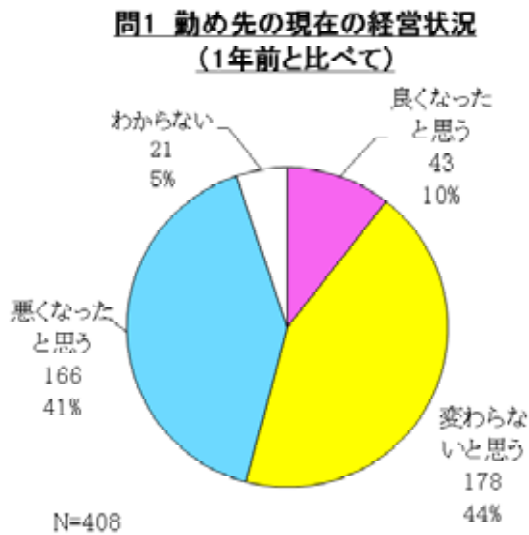
4. 暮らし向きに関連した不安・悩み

「預貯金など資産の少なさ」（57%）、「自分や家族の健康」（37%）、「自分自身または配偶者の老後」（29%）の順に選択が多かった。

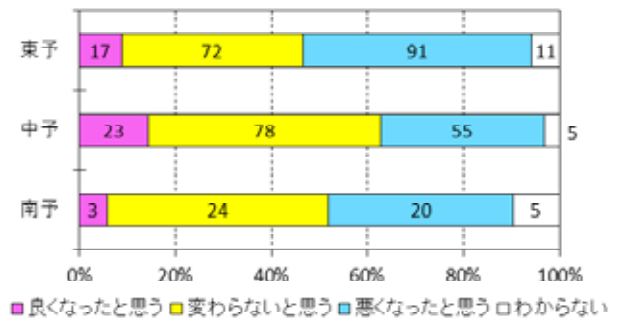
調査結果概要

1. 勤め先の経営状況

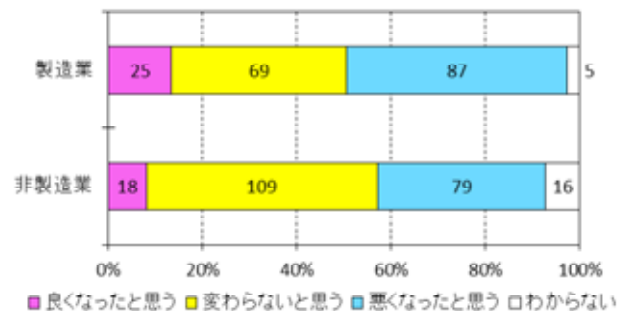
1年前と比べて、勤め先の経営状況が「悪くなったと思う」(41%)が「良くなったと思う」(10%)を大きく超過した。



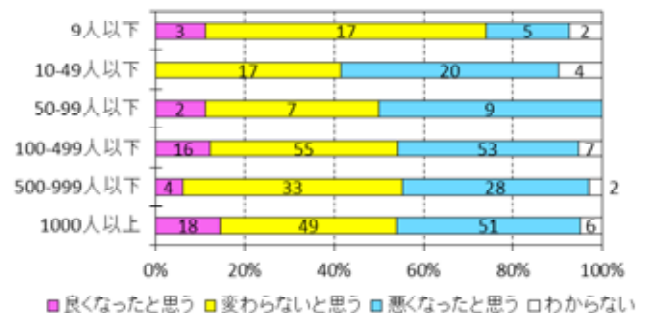
地域別にみた勤め先の経営状況(1年前と比べて)



業種別にみた勤め先の経営状況(1年前と比べて)



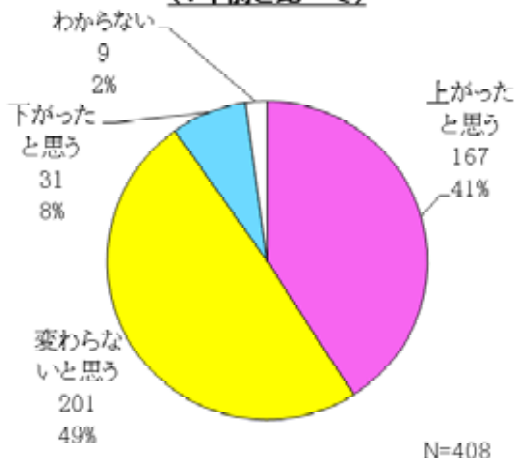
従業員数別にみた勤め先の経営状況(1年前と比べて)



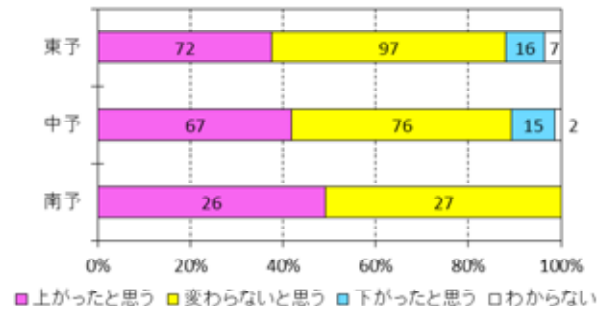
2. 物価（あなたの日常生活に関連した商品やサービスの価格）

1年前と比べて「上がったと思う」が4割に達した。回答からは物価が上昇していると捉える傾向がみられる。

問2 日常生活に関連した商品やサービスの価格
(1年前と比べて)



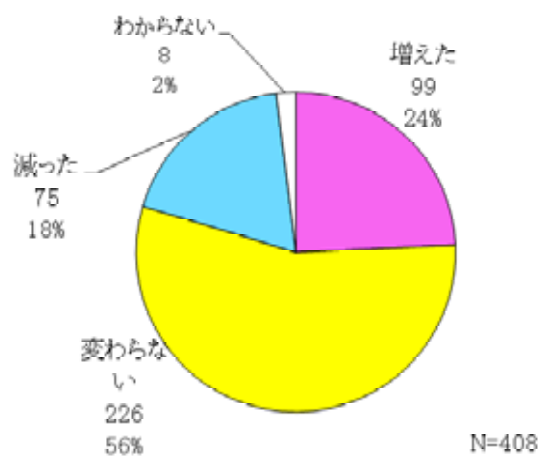
地域別にみた物価の状況(1年前と比べて)



3. 実労働時間

1年前と比べた最近の実労働時間については、「変わらない」(56%)が最多で、「増えた」と「減った」の割合に大きな差はない。

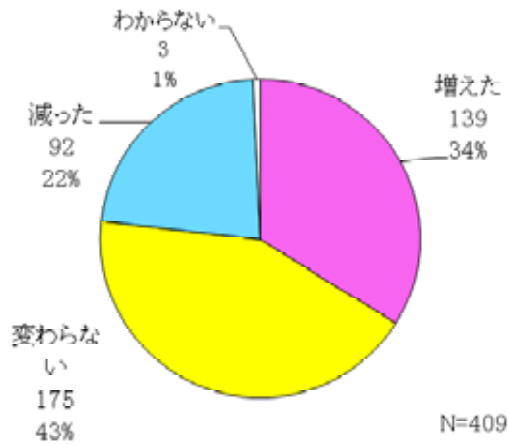
問3 最近の実労働時間(残業・休日出勤を含む)
(1年前と比べて)



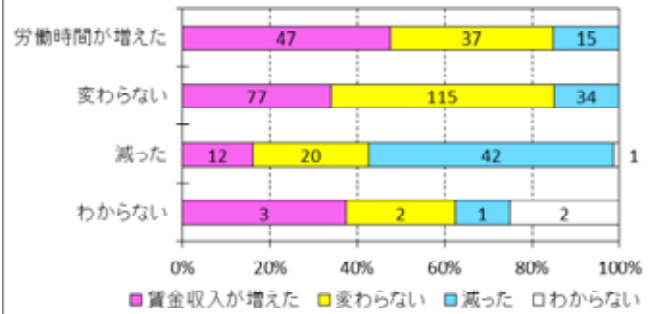
4. 賃金収入

1年前と比べて、賃金収入が「変わらない」(43%)が最多で、「増えた」(34%)が「減った」(22%)をやや上回った。労働時間と賃金収入の関連を確認できる。

問4 あなたの賃金収入(1年前と比べて)



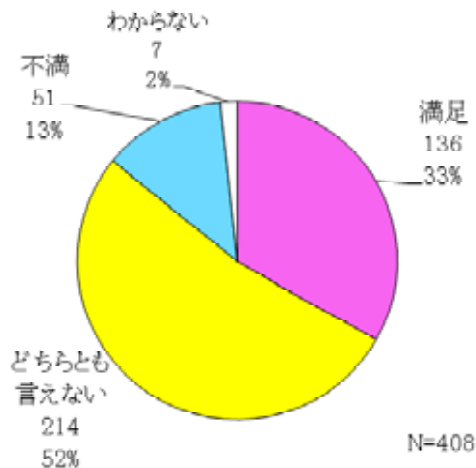
賃金収入の変化と労働時間の変化(1年前と比べて)



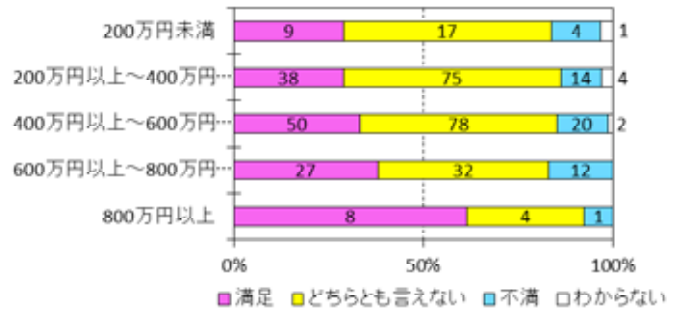
5. 勤め先の仕事の満足感

「満足」(33%)が、「不満」(13%)を上回った。年収別にみると、年収が多い層ほど、「満足」の割合が高い。年齢別にみると、30歳代の「満足」の選択率がやや少ない。

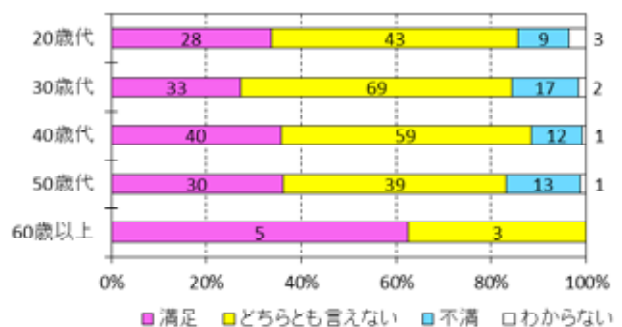
問5 仕事の満足感



年収別にみた仕事の満足感



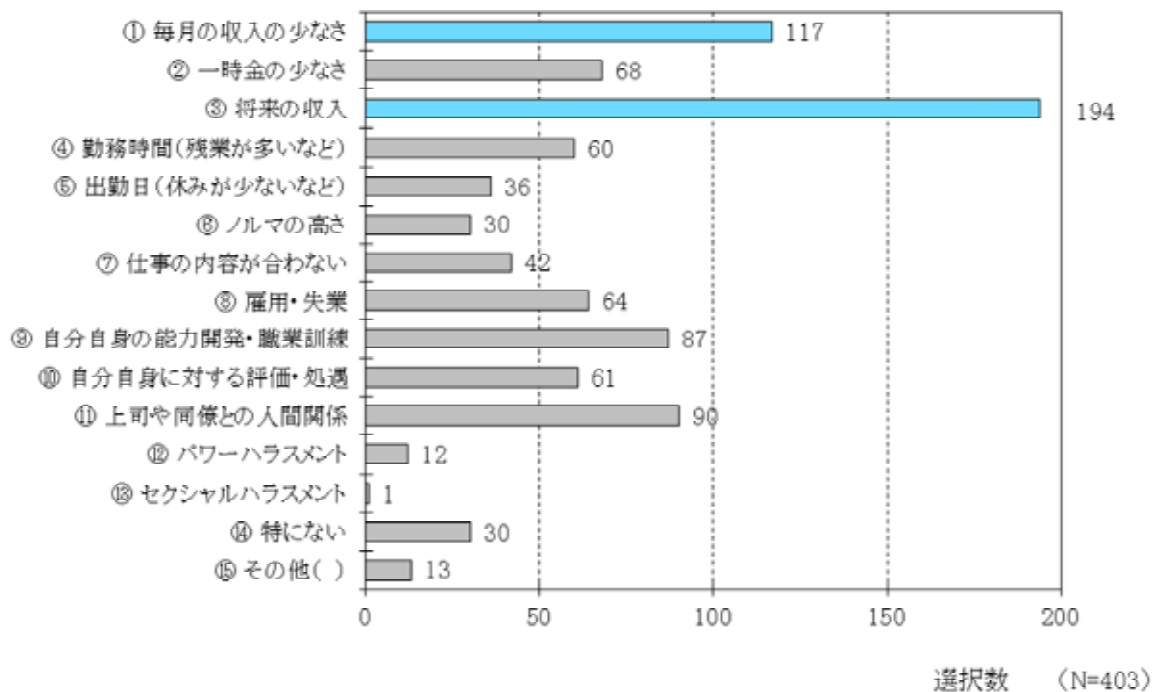
年齢別にみた仕事の満足感



6. 仕事での不安・悩み

「毎月の収入の少なさ」(29%)と「将来の収入」(48%)が突出している。「将来の収入」は、ほぼ2人に1人が選択しており、将来の収入に対する不安の広がりも深刻である。

問6 仕事に関連して、この半年間に特に不安に思ったこと・悩んだこと
(3つまで選択可)

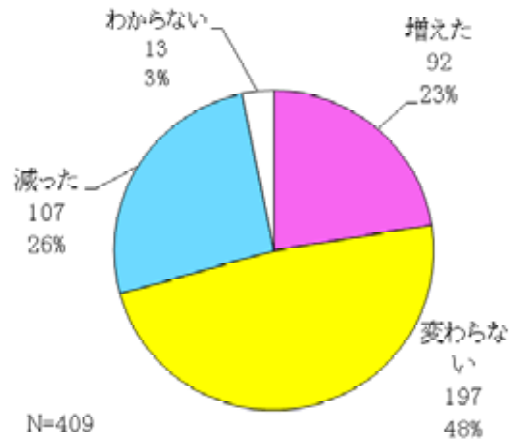


暮らし向きについて

7. 世帯全体の収入

1年前と比べて、世帯全体の収入は、「変わらない」(48%)が最多で、「増えた」「減った」の割合に大きな差はない。

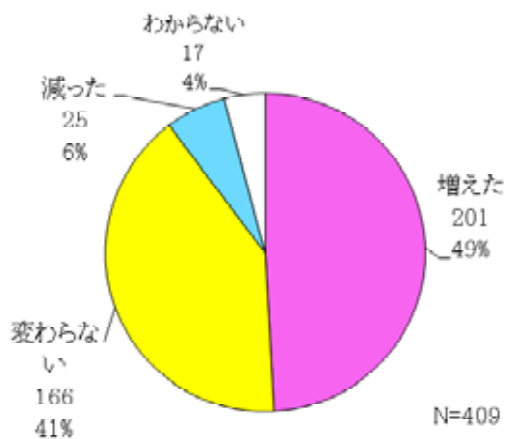
問7 世帯全体の収入(1年前と比べて)



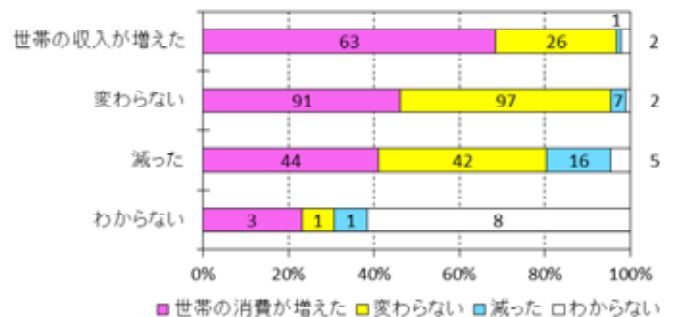
8. 世帯全体の消費

1年前と比べて、世帯全体の消費は、「増えた」(49%)が「減った」(6%)を大きく上回った。勤労者世帯は、消費支出が増えたと捉えている。世帯収入と世帯消費の関連を確認できる。

問8 世帯全体の消費(1年前と比べて)



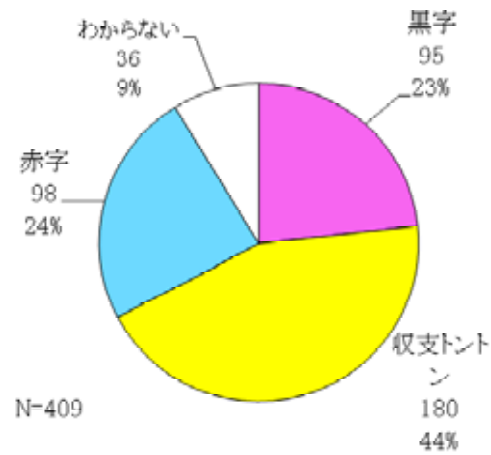
世帯収入×世帯消費(1年前と比べて)



9. 世帯の年間収支

全体として、1年間の世帯の収支はトントン。

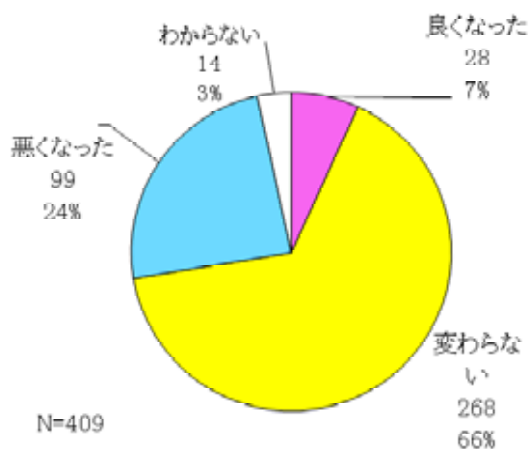
問9 1年間の世帯全体の収入



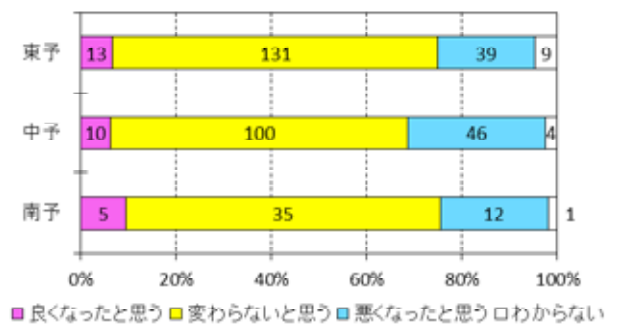
10. 世帯の暮らし向き

1年前と比べて、世帯の暮らし向きは「変わらない」が66%に達したが、「悪化」(24%)が「良くなった」(7%)を上回った。地域別の差異は確認できない。

問10 世帯の暮らし向き(1年前と比べて)



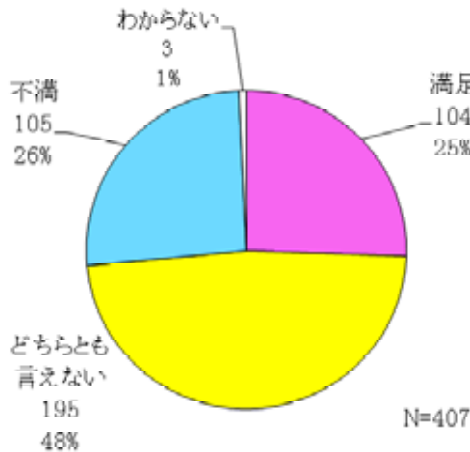
地域別にみた世帯の暮らし向き(1年前と比べて)



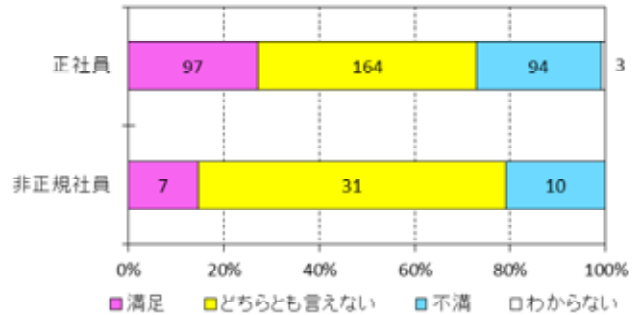
11. 生活の満足感

「満足」(25%)と「不満」(26%)の割合に差はない。しかし、就業形態別(「正社員」,「非正規社員」)では違いがみられ、また、年収が多い層ほど満足感が高くなる傾向があり、(年収とは逆になるが)20歳代の満足感が高いことが確認できる。

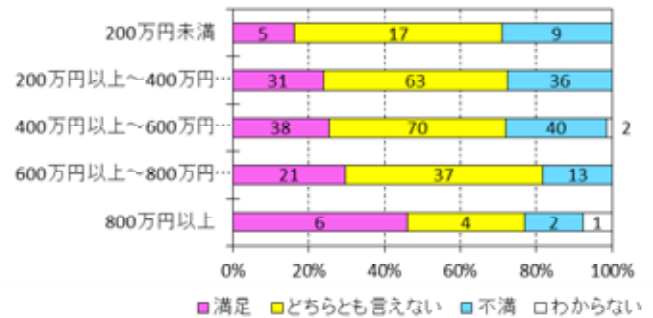
問11 生活の満足感



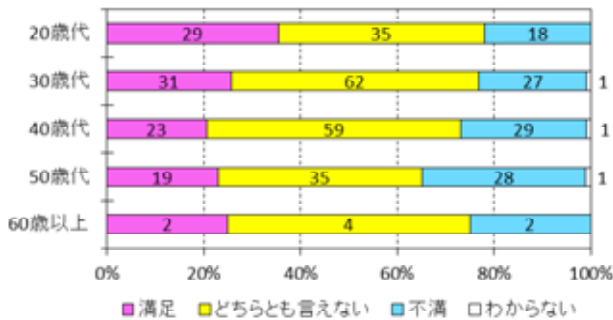
就業形態別にみた生活の満足感



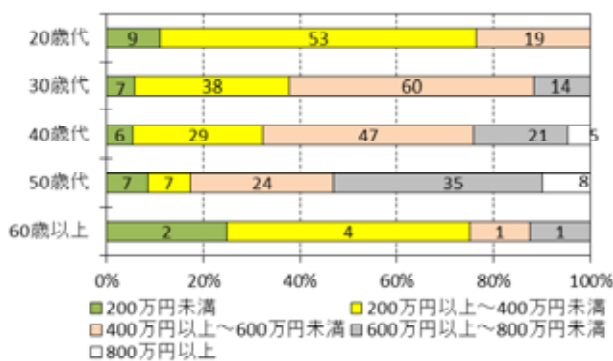
年収別にみた生活の満足感



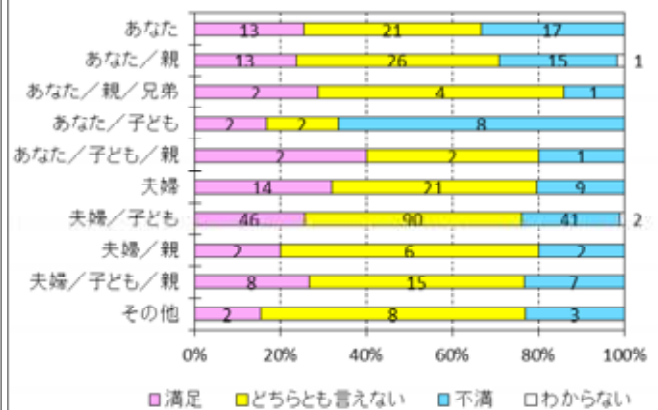
年齢別にみた生活の満足感



年齢別にみた年収



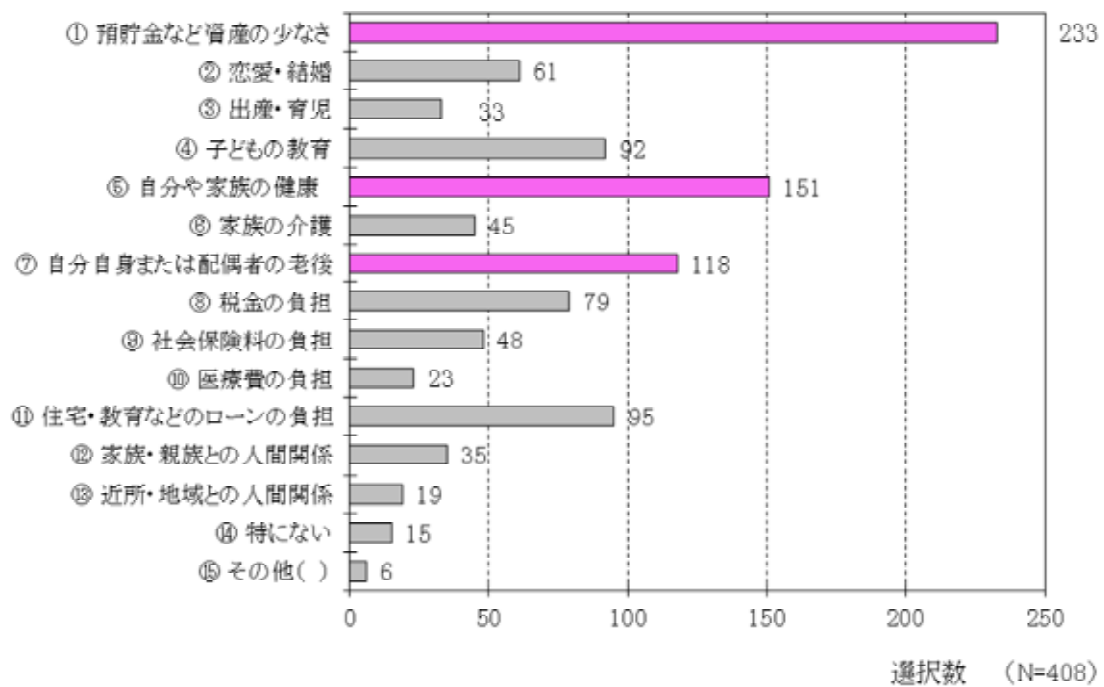
家族構成別にみた生活の満足感



12.暮らし向きに関連した不安・悩み

「預貯金など資産の少なさ」、「自分や家族の健康」、「自分自身または配偶者の老後」が上位の3つになった（回答者の選択率はそれぞれ57%、37%、29%）。家計の不安が、健康、老後、ローン、教育・・・と広がっていく状況が確認できる。

問12 暮らし向きに関連して、この半年間に特に不安に思ったこと・悩んだこと
(3つまで選択可)



以上